

第2回会議における勤労福祉センターの在り方に対する意見

- 修繕費のコストが掛かりすぎ。修繕費が増え続けるのならどこかの出費を抑えるしかない。
- 施設を継続するには、直接管理方式にし、運営は管理だけにすればよいのではないか。
- コストは施設が劣化していくと新しい時より増加する。今後も施設を継続していくとコストが掛かることになる。
- 予算や老朽化の資料を見た時にこれだけ赤字だと厳しい。
- 修理実績で、お風呂とジムの修繕費を足すと全体の割合に比べ毎年嵩んでいくのは苦しい。
- 民間は採算が合わないと止めることに繋がるが、公共施設は設置目的がある。その目的に対して時代の流れの中で変わっていくこともある。ただ、使っている人にとっては存続の思いがあり、使っていない人は不用、税金の無駄ということもある。どの分岐で持続するか、止めるにしてもただ人数が少ないから止めるのは違うのではないか。
- 自分の健康管理等でとても役立つ施設と知れば利用したいという人もいると思う。
- 主婦の人や子育て終わって一段落した人が健康管理に役に立つし、和光市にとって絶対にあった方がよい。
- イベント等踏み出せるきっかけがあればいい。健康寿命を考え、年配の方へお風呂を利用してもらい、間口を広げることも可能ではないか。
- 地震や天災など不測の事態には、お風呂や会議室が利用できるのも存続することも必要ではないか。
- この施設は諦めて、住みやすい街に発展させるためにも、新しい施設を建て充実させるのが一番よいのではないか。
- 利用者としては、何としても残してもらいたいが、実際に資料をみると仕方がない。利用者に納得してもらい、ジムとお風呂は代替施設があるならその案内。会議室など残す設備を運営するにしても費用が掛かる。それをあと何十年続けるのか、費用を抑えるための一時的なつなぎなのか、運用目的が全く違う、公民館のようなイメージに変わった場合には、もうアクシスには行かないという人も出てくる。
- アクシスは浸水区域に立っている。アクシスの地下の駐車場は水が溜まる。この先どうするかも踏まえて考えつつ、今どうするかを決めていかなければならないと思う。
- 当時の区画整理組合関係者はほとんどいなく組合も解散している。
- 利用者も結構いて、これから経費もかかり厳しいのだろう。集会所としてでもあのような施設はあった方がよい。
- 今の施設を徹底的に直して、アピールして利用者を増やすことができないのか。
- 費用対効果としてはバツ。代替施設は、あった方がよい。
- 勤労福祉センターは人が少ないことが利点である。
- 施設へのアクセスが悪い。場所が不便である。

勤労福祉センターを直営にした場合の開館時間について

開館時間等 (現状)

- ・利用時間：午前10時～午後10時まで ※利用単位は1時間、ジムは3時間
- ・休館日：毎月第4月曜日、1月1日～3日、12月29日～31日

現状と今後の課題

- ・未だに新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがつかず、当分の間は日々の清掃の他、施設全体の消毒等感染防止対策を行う必要がある。
- ・今後、最低賃金の引上げ及び雇用保険料率の大幅な改定など人件費の高騰が見込まれており、これらに対応する必要がある。
- ・ →安全安心な施設の維持管理
→施設継続のための閉館時間の見直し が必要

上記を踏まえた変更案

- ・利用時間：午前10時～午後9時まで ※利用単位は1時間
- ・休館日：毎週月曜日、1月1日～3日、12月29日～31日
- ・※利用状況を踏まえ、運営方式の見直し時期に合わせて利用時間・休館日を見直してはいかかがか。